

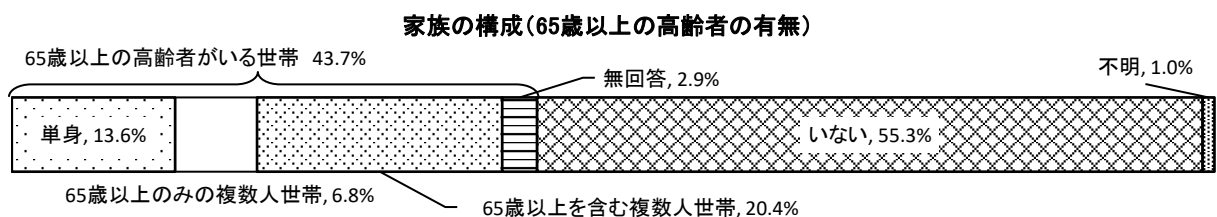
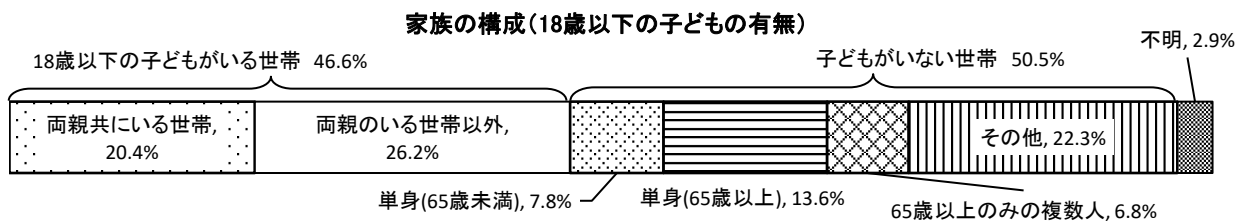
令和5年度東日本大震災避難者アンケート調査の結果について【概要】

1 調査目的・対象等

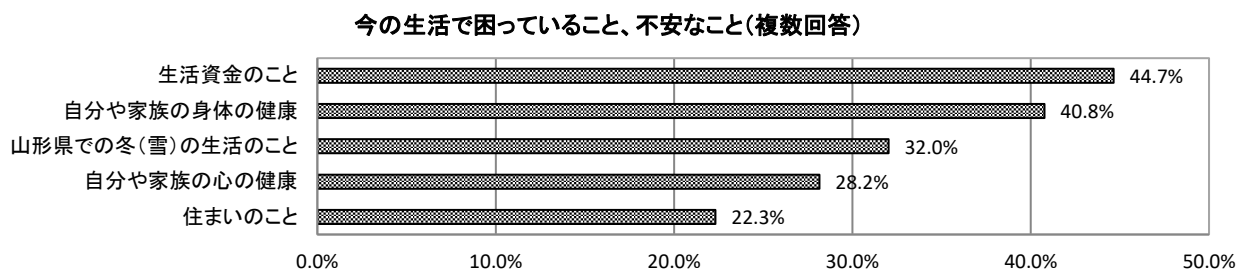
- (1) 調査目的：避難生活の長期化に伴う課題やニーズ等を把握し、今後の避難者支援策に資する
- (2) 調査対象：東日本大震災により山形県内に避難されている425世帯
- (3) 調査方法：郵送によるアンケート調査
(同封した返信用封筒又は「やまがたe申請」により回収)
- (3) 調査期間：令和5年6月下旬～7月下旬
- (4) 回答数：103世帯（回収率：24.2%）

2 主な調査結果

(1) 世帯の現状について

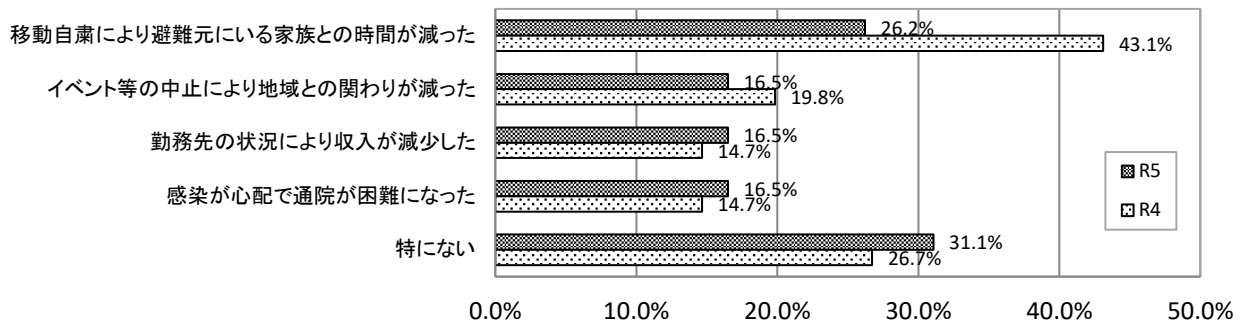


(2) 山形での生活について



(3) 新型コロナによる影響について

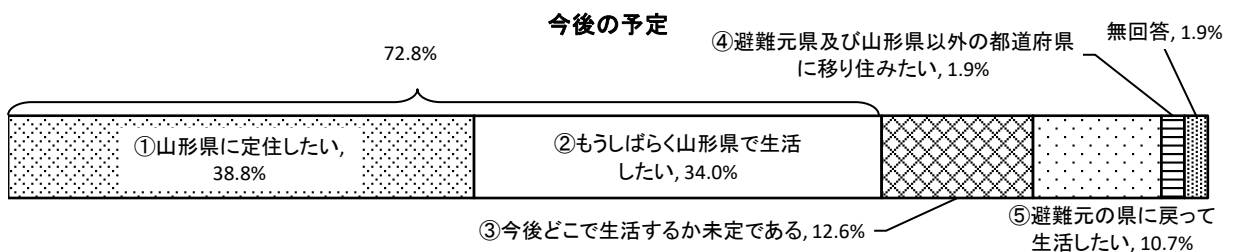
新型コロナウイルス感染症による影響(複数回答)



※令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置付けが5類感染症に変更された。

(4) 今後の生活について

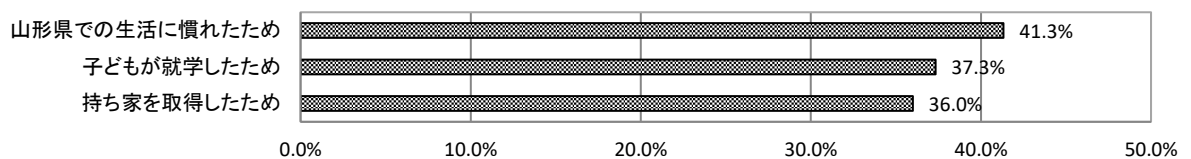
当面、山形での生活を続けたいと考えている方が約7割となっている。



山形県内での避難期間の見通し(②、④、⑤と回答した方)



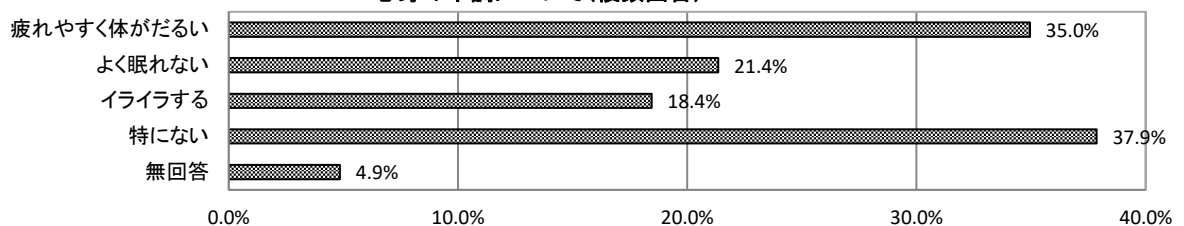
「①山形県に定住したい」「②もう少しばらく山形県で生活したい」と答えた方の理由(複数回答)



(5) 心身の健康について

約6割*の方が心身に何らかの不調を抱えている。

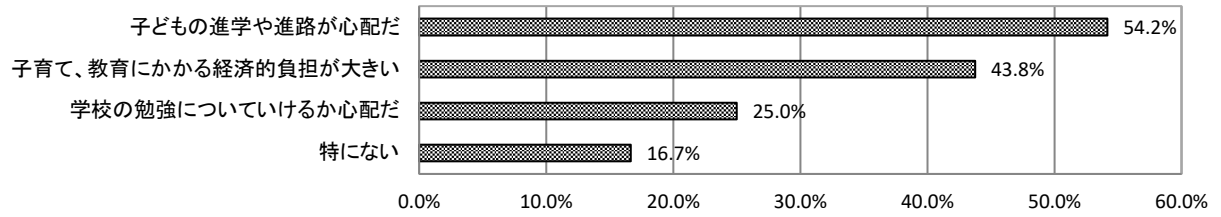
心身の不調について(複数回答)



※「特にない」と「無回答」を除いた割合が約6割

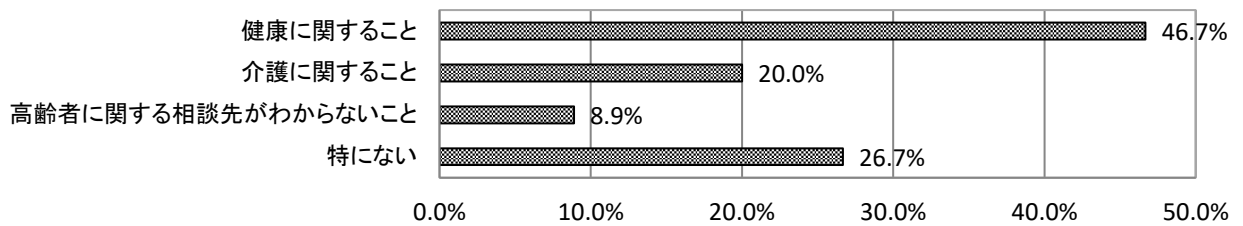
(6) 教育や子育てについて

教育や子育てで困っていること(複数回答)



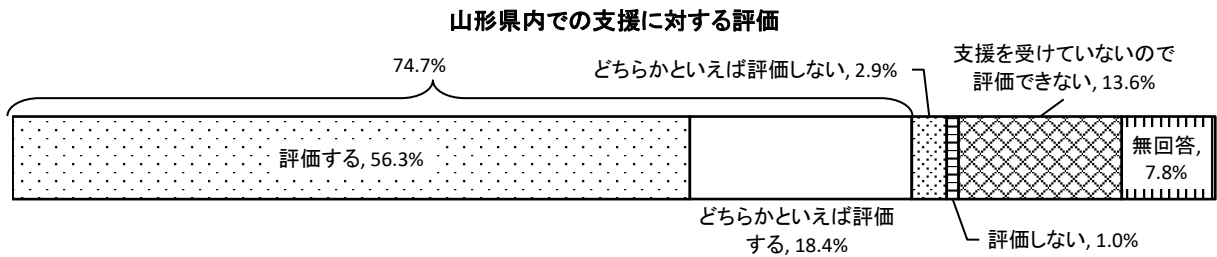
(7) 高齢者の生活について

高齢者の生活で困っていること(複数回答)



(8) 県内で行っている避難者支援について

山形県内での支援については約7割の方が評価している。



避難者への支援として期待するもの(複数回答)

